

保証書

型 名	No.1340 LED付 ローダウンジャッキ 2.25トン		
保証期間	1年間	☆お買上げ年月日	年 月 日
☆お客様	〒		
	TEL () -		
☆販売店	住所		
	TEL		

☆この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。本書は本記載内容で無料修理することをお約束するものです。

- 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参ご提示の上お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。
- 保証期間中でも二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、有料修理になります。
 - 使用上の誤りあるいはメンテナンスなどの義務を怠ったために発生した故障および損傷。
 - 不当な改造や修理による故障および損傷。
 - お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
 - ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷。
 - 消耗が起因とする故障および損傷、または消耗品の交換。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変あるいは外部要因による故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

●ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号

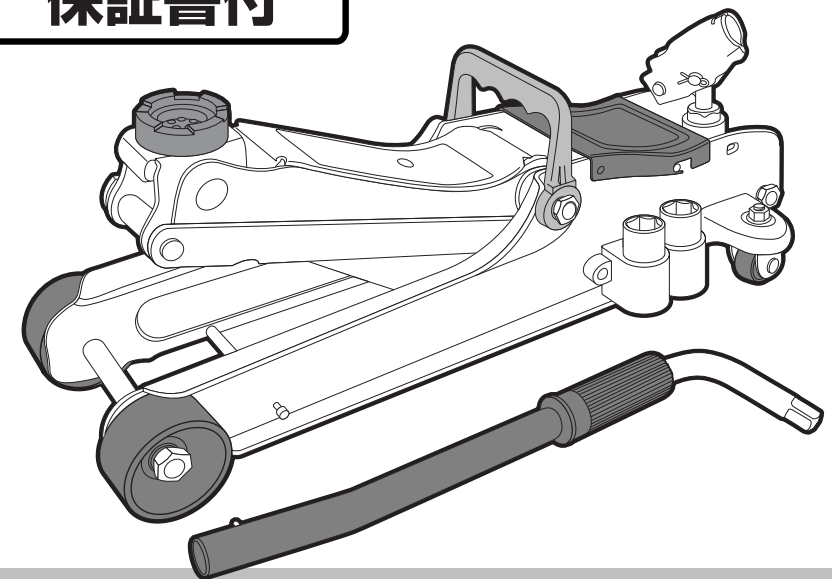
TEL06-6996-2631 (お問い合わせ先)

LED付 ローダウンジャッキ

最大荷重
2.25トン

取扱説明書

保証書付



必ずご使用になる前に、本文に出てくる危険・警告・注意表示を詳しく読み、よく理解して正しくご使用ください。なお、この取扱説明書には保証書がついております。大切に保管してください。

いつでも使用できるように大切に保管してください。

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用ください。



危険 この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告 この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視したり取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、或いは物的損傷が発生すると想定される内容を示しています。

■その他の表示



重要 この表示の記載内容は、ご使用になる上で非常に重要な内容を表していますのでジャッキをご使用になる前に必ずお読みください。

安全にお使いいただくために

■用途

本製品は自動車のタイヤ交換、タイヤチェーン脱着や整備の際に自動車をジャッキスタンドなどで保持させるために、ジャッキアップまたはジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。

■使用上の注意 重要



- ジャッキアップした状態のまま車体の下には絶対に入らないでください。
- ジャッキを設置する際は、使用中にジャッキが絶対に外れない部分に設置してください。ジャッキアップしている自動車を破損させたり、自動車が落下するなどの危険性があります。
- ジャッキアップした車体の下へ手、足、身体を入れないでください。ジャッキアップした状態のままで保持させる場合は、必ずジャッキスタンドを使用してください。

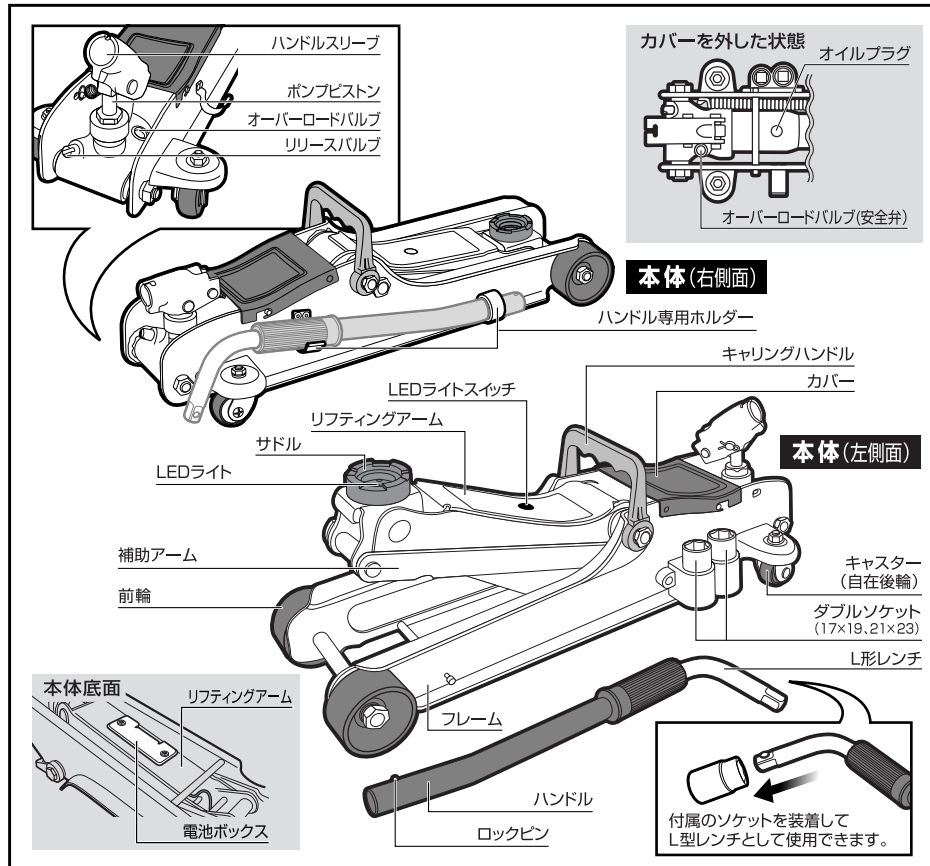


- 取扱説明書をよく読み充分理解した上で使用してください。本書には重要警告事項の説明が記載されています。警告に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。
- ジャッキを改造したり本来の用途以外の目的で使用しないでください。
- 自動車をジャッキアップおよびジャッキダウンする際は自動車の下に人や物などがないことを確認してから作業を行ってください。
- ジャッキに異常が発生した場合（オイル漏れ、フレーム変形等）、使用を中止して、異常箇所の修復を完全に行うまでジャッキを使用せず、直ちに販売店または弊社までご連絡ください。そのままご使用になった場合、重大な事故につながる危険性があります。
- オーバーロードバルブ（安全弁）は出荷時に安全荷重に調整されていますので調整などは絶対にしないでください。
- 本製品でジャッキアップする際は、必ず事前にフロアジャッキ用のジャッキポイントの位置を確認してください。（ジャッキポイントの位置は車種によって異なりますので、詳しくは自動車メーカーへお問い合わせください。）
- ジャッキアップやジャッキダウン中は自動車に振動や力を加えたりしないでください。
- 本製品は平滑で強固な地面でのみご使用ください。傾斜地や凹凸のある地面、軟弱な地面では使用しないでください。
- ジャッキは2台以上同時に使用しないでください。
- ハンドルを使用しないときは必ず、ハンドルスリーブから外してください。
- ジャッキの持ち運びやジャッキダウンする際に、フレームなど可動部分で指などを挟まないようにしてください。
- 電子制御サスペンション車は、必ず自動車に添付のマニュアルを確認してからジャッキアップ作業をしてください。



- 本製品の能力（2.25t）以上の負荷で使用しないでください。
- 必要以上に自動車をジャッキアップしないでください。
- 本製品は-10℃～60℃の範囲の温度環境で使用してください。

各部の名称



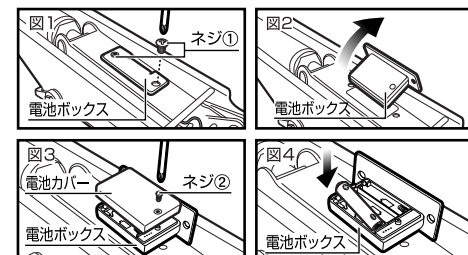
■L形レンチ

車両のラグナットに適合したソケットを選択し、L形レンチの先端にしっかりと差し込んでお使いください。

- ※ソケットは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分の場合、作業中にソケットが外れてしまい、車体やホイールに傷がつく恐れがあります。
- ※ホイールの種類によっては付属のソケットの外径より、ホイールのナット取付穴の直径が小さい場合があります。ご使用になる前にソケットとナット取付穴の間にすき間があることを確認してください。無理に使用するとホイールに傷がつきます。
- ※ホイールに対して直角にソケットを差し込んでください。直角に差し込まずに使用した場合、ホイールに傷がつく恐れがあります。
- ※足で踏んだり、パイプを継ぎ足して使用しないでください。突然ナットが緩んでケガの原因になったり、ボルト・ナットやハンドル（L形レンチ）が破損する恐れがあります。

■電池の入れかた

- 1) リフティングアーム背面にある電池ボックスのネジ①を外してください。（図1 参照）
- 2) 電池ボックスをリフティングアーム内から取り出してください。（図2 参照）
- 3) 電池ボックスのネジ②を外して電池カバーを取り外してください。（図3 参照）
- 4) 電池ボックスに表示されている電池の向きに合わせて電池を入れてください。単3形乾電池×3本（別売）（図4 参照）
- 5) 逆の手順で電池カバーを取り付けた後、電池ボックスをリフティングアームに取り付けてください。



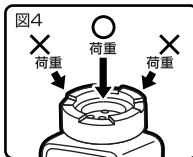
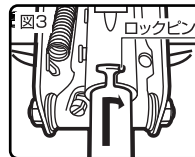
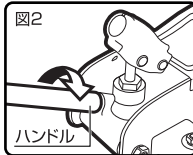
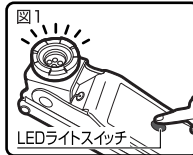
使用かた

■LEDライト

リフティングアームのLEDライトスイッチを押すと点灯します。(図1 参照) ※約2分後に自動消灯します。

■ジャッキアップ

- 1) 平坦で堅い地面にジャッキを置き、ジャッキポイント*の位置を確認してサドルをセットしてください。※ジャッキポイント: 車体下部にあるジャッキのサドルを当てるための適切な箇所(ジャッキポイントは車種によって異なりますので自動車に添付のマニュアルや自動車メーカーに確認するなど、事前に確認してください。)
- 2) ハンドルの先端(L形レンチでない方)をリリースバルブに差込み、時計方向に回してリリースバルブを締めます。(図2 参照) ※リリースバルブの締め付けが不十分な場合、ジャッキアップしなかったり、下がってきいたりしますのでしっかりと締めてください。
- 3) ハンドルをハンドルスリーブへ差込んでください。
※操作中にハンドルが抜けないようにハンドル先端のロックピンがハンドルスリーブの溝に正しくセットされているか確認してください。(図3 参照)
- 4) ハンドルを上下に動かし、サドルをジャッキポイント付近まで上昇させた後に、一度停止させて荷重の中心がサドルの中央にかかることを確認してください。(図4 参照)
- 5) 確認後ハンドルを上下一杯に動かして、目的の高さまでジャッキアップしてください。



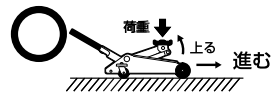
【チェックポイント】

- ① 荷重の中心がサドルの中心にかかっていますか？
- ② サドルの上昇にともなって、ジャッキが前に移動していますか？
- ③ ジャッキアップ中に荷重の中心がサドルの中心からずれてきていませんか？

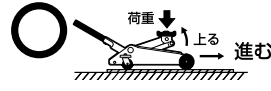
警告

- 傾斜地や地面が軟弱な場所、および平坦でない場所では使用しないでください。ジャッキが傾いたり、サドルが外れて自動車落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります、また傾斜地ではジャッキアップ中に自動車が動き出して重大な事故につながります。

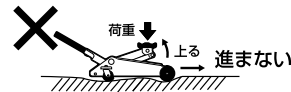
強固な地面(可)



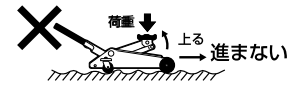
鋼板等の強固な板を敷いた場合(可)



柔らかい地面はめり込んで進まない(不可)



凹凸な地面は前へ進まない(不可)



- 傾斜した場所や勾配のある道路では使用しないでください。



水平で強固な場所(可)

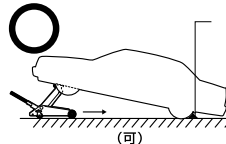


傾斜した場所(不可)



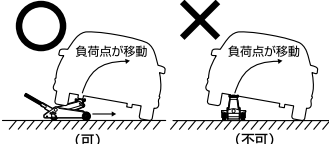
傾斜した場所(不可)

- ジャッキの昇降に合わせてジャッキの車輪が回転し、ジャッキが下図の矢印の方向に移動していることを確認してください。ジャッキが移動しない場合、ジャッキポイントからサドルが外れ、自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険性があります。※下のイラストは、サドル上昇時の移動方向です。下降時は矢印の方向と逆の方向へ移動します。



(可)

※図のようにジャッキアップ反対側に、タイヤストッパーをしてください。



(可)

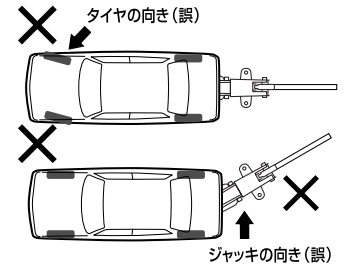
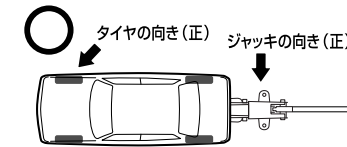


(不可)

- 自動車メーカーの指定するジャッキポイント以外では、ジャッキアップしないでください。車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。

- ジャッキアップの際は自動車のタイヤをまっすぐの状態にして、ジャッキを車体に対してまっすぐに入れてください。ジャッキの向きが斜めになっている状態でジャッキアップした場合、サドルがジャッキポイントから外れ自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険性があります。

- 車のタイヤは、車の直進方向にして、ジャッキを車に対してまっすぐに入れてください。



- サドルを上昇させて、サドルが車体に当たった時点で一度停止させて、サドルが車体のジャッキポイントの正しい位置(荷重の中心がサドルの中央にかかる位置)にセットされていることを確認してください。セットする位置がずれていた場合、車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。

注意

- 荷物や人を乗せたままジャッキアップしないでください。
- エンジンかけたままジャッキアップしないでください。
- ジャッキアップは自動車のサイドブレーキをかけ、シフトはロー(A/T車は【P】パーキング)の位置で作業をしてください。
- ジャッキアップする際は必ずタイヤストッパーなどの車輪止めを使用してください。
- ハンドルの上下操作はハンドルをしっかり握って操作してください。ジャッキに異常が発生した場合、ハンドルがはね上がったり急に操作が軽くなることがあり、けがをする可能性があります。
- 自動車メーカーの指定するフロアジャッキ用のジャッキポイント以外ではジャッキアップしないでください。車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。※バンタグラフジャッキ用のジャッキポイントでは使用できません。
- 電子制御サスペンション車は、必ず自動車に添付のマニュアルを確認してからジャッキアップ作業をしてください。

■一定の高さで保持する場合

ハンドルの上下動作を停止するとサドルが自動車を保持したままの状態になります。

危険

- ジャッキアップした状態のまま車体の下には絶対に入らないでください。車体の下に入って作業をする場合は必ずジャッキスタンドなどを使用してください。(P.6 関連商品参照)
- ジャッキアップした状態のまま自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。

注意

- ジャッキアップ作業中はリリースバルブに触れないでください。
- ジャッキの操作をしないときは、ハンドルをハンドルスリーブから取り外してください。

■ジャッキダウン

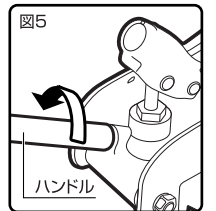
ハンドルの先端をリリースバルブに差し込み、反時計方向にゆっくりと回すとリリースバルブが緩み、サドルが下降します。(図5 参照)

危険

- リリースバルブを急激に緩めないでください。サドルが急激に降りるため、自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険性があります。

注意

- ジャッキダウンする際に、フレームなど可動部分で指などを挟まないように注意してください。
- 故障の原因になりますので、リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。オイル漏れや故障の原因になります。



■作業が終了したら

作業が終了したらサドルやリフティングアーム、フレーム、可動部分などに付着した泥、オイル、グリース、水滴などの汚れをきれいにふき取ってください。

メンテナンス

■ジャッキのお手入れ

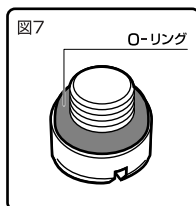
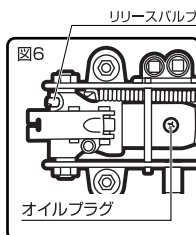
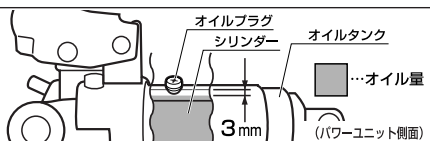
- 1) ジャッキを使用しないときは錆などによる動作不良を防止するため、リフティングアームおよびポンプピストンを最下位の位置に下げておいてください。
- 2) ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
- 3) オイル量を定期的に確認し、オイルの量が減少している場合は適量を補充してください。
(下記ジャッキオイルの補充および交換 参照)
- 4) 頻繁にご使用になる場合や長期保存の場合は、最良の状態を保持するために約1年毎にジャッキオイルを交換してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換 参照)
- 5) 保管する際は、錆や動作不良などの故障の原因になりますので雨や雪がかかる場所や湿度の多い場所には保管しないでください。

■ジャッキオイルの補充および交換

- 1) カバーを取り外し、オイルプラグをプラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。
- 2) リリースバルブを緩めます。(図6 参照)
※リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。
- 3) オイルプラグの穴を下に向けて古いオイルを排出してください。
- 4) ほぼ完全にオイルを排出した後にジャッキオイル (No.366 オイルジャッキ専用作動油) をオイルプラグの穴から注入してください。またオイル注入中にゴミなどが入らないように注意してください。

オイルの適正量

ジャッキオイルの適正量は、サドルを最低位置まで下げた状態で、オイルプラグの穴から、油面まで約3mmの空間を設けた位置です。



- 5) ジャッキオイルの適正量は、ジャッキを水平な場所へ置き、リフティングアームおよびポンプピストンを最下位まで下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約3mmの空間を設けた位置です。(右図オイルの適正量 参照)
- 6) サドルが途中までしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足が考えられますので、ジャッキオイルを適正な量まで補充してください。
- 7) 作業終了後はオイルプラグのOリングに薄くオイルを塗り、プラスドライバーでオイルプラグを時計方向に回して本体に取り付けてください。(図7 参照)

注意

- 火気のある場所、またはその近くでオイル補充および交換をしないでください。
- ジャッキオイルは指定されたもの以外は使用しないでください。
エンジンオイルやその他のオイルは粘度が異なるため作動不良の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- ジャッキオイルを補充する際にオイルタンク一杯にジャッキオイルを入れるとジャッキが作動しません。必ず適正量をお守りください。

作動油 ジャッキ用オイル (ISO VG10) (純正ジャッキオイル No.366 オイルジャッキ専用作動油をご使用ください。)

■エア抜き

- 1) ジャッキを水平な場所へ置き、リリースバルブを緩めてください。
※リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。
- 2) オイルプラグを取り外してください。(ジャッキオイルの補充および交換の“1”) 参照)
- 3) ハンドルスリーブをすばやく10回程度ポンピングしてください。この動作をすることによりパワーユニット内部に入っていたエアが抜けて正常に動作します。
- 4) オイルプラグを取り付けてください。(ジャッキオイルの補充および交換の“7”) 参照)

■オイルの強制循環

- 1) ジャッキを水平な場所へ置き、リリースバルブを緩めてください。※リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。
- 2) 前輪のシャフトに足をかけ、手でリフティングアームを最高位まですばやく引き上げてください。
- 3) 2の動作を数回繰り返します。この動作を行うことによりパワーユニット内のゴミが強制的にオイルタンク内に移動します。オイルタンクに設けられたゴミ除去ネットによりゴミが再びパワーユニット内に戻ることはありません。

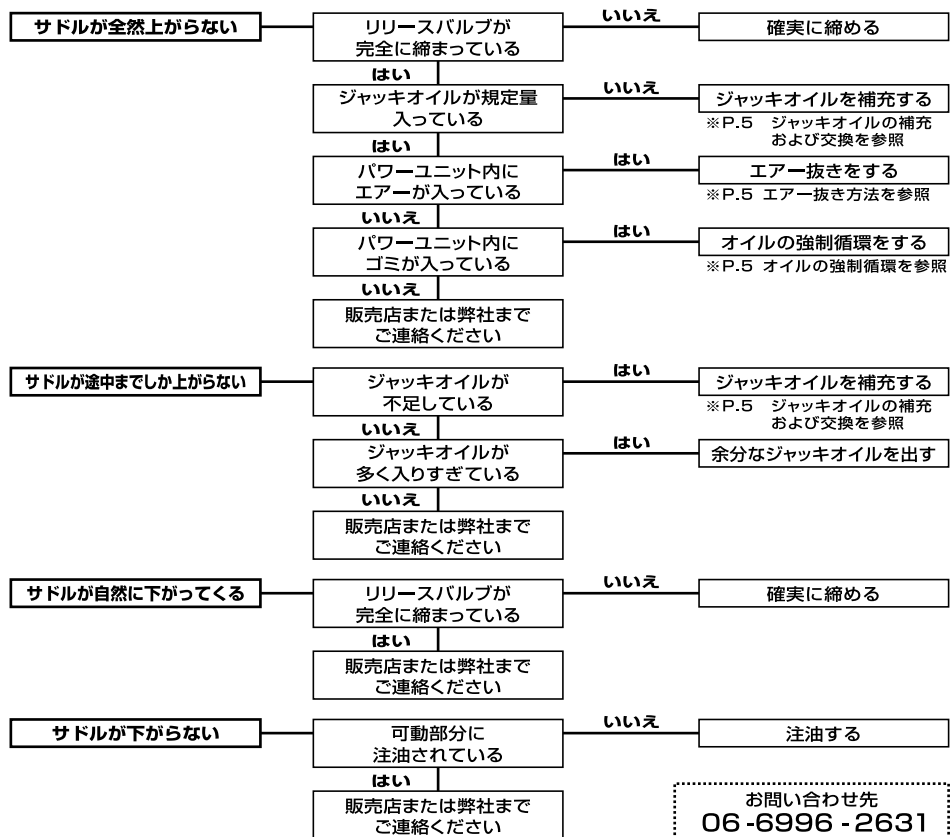
製品仕様

改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承ください。

品番	No.1340	本体サイズ	560 (L) × 220 (W) × 145 (H) mm
品名	LED付 ローダウンジャッキ	本体質量	13.2kg
最大荷重	2.25t	ハンドル長	425mm
最高位	365mm	使用環境	-10℃～60℃
最低位	80mm	作動油	ISO VG10
揚幅	285mm	作動油量	115cc

故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をしてください。点検をしても状態に変化がない場合は、お買い上げの販売店または弊社へご相談ください。

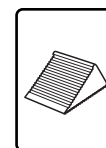


関連商品 (別売)



ピットスタンド

NO.922 最大荷重: 2トン (2脚使用)
サドル高さ: 160~240mm
●2脚入



タイヤストッパー

NO.210

- ワイド設計 (幅100mm)
- すべりにくいゴム製